

令和4年度

環境調査結果報告書

幸 田 町

目 次

| | |
|------------------|----|
| I 環 境 概 況 | 1 |
| 1 大 気 汚 染 | |
| 2 水 質 汚 濁 | |
| 3 騒 音 | |
| 4 農薬汚染調査 (ゴルフ場) | |
| II 本 編 | |
| 1 大 気 汚 染 | 2 |
| 1-1 一般大気環境測定結果 | |
| 1-2 有害大気汚染物質測定結果 | |
| 1-3 ダイオキシン類測定結果 | |
| 2 水 質 汚 濁 | 4 |
| 2-1 河川水質調査結果 | |
| 2-2 地下水調査結果 | |
| 2-3 工場排水調査結果 | |
| 3 騒 音 | 6 |
| 4 農薬汚染調査 | 6 |
| III 資 料 編 | |
| 1 大 気 汚 染 | 7 |
| 2 水 質 汚 濁 | 19 |
| 2-1 河川水質調査結果 | |
| 2-2 地下水調査結果 | |
| 2-3 工場排水調査結果 | |
| 3 騒 音 | 45 |

用 語 集

I 環境概況

幸田町は、町民の健康的な暮らしとより良い生活環境保全のために、町内の大気汚染や水質汚濁の状況などの環境調査を継続的に実施している。

令和4年度環境調査結果の概況は以下のとおりである。

1 大気汚染（資料編：P7～18）

環境基準項目（10項目）を夏季、冬季に各1回調査した。夏季は10項目のうち9項目が環境基準値を満たし、1項目（光化学オキシダント）が環境基準値を超過した。冬季は全10項目が環境基準値を満たした。

2 水質汚濁

(1) 河川水質（資料編：P19～39）

幸田町内の12河川（全16地点）の水質検査を実施した。16地点のうち、夏季は14地点、秋季は15地点が生活環境項目の環境基準値を満たした。また、16地点のうち2地点については重金属等有害項目の検査も実施した。その結果は、2地点ともに環境基準値を満たした。

(2) 地下水水質（資料編：P40～42）

幸田町内の地下水を12地点で検査した。11地点が地下水環境基準値を満たした。

(3) 工場排水（資料編：P43～44）

幸田町内事業所の排水を検査した。全6事業所のうち、5事業所が排水基準値を満たした。

3 騒音（資料編：P45～56）

県道 西尾幸田線沿線（幸田町大字逆川地内）の1地点で騒音測定を実施した。昼間及び夜間の両区分が環境基準値を満足した。

4 農薬汚染調査（ゴルフ場）

幸田町内ゴルフ場の調整池1地点において農薬汚染水質調査を実施した。水質検査の結果、ゴルフ場農薬暫定指針値を満たした。

II 本 編

1 大気汚染

1-1 一般大気環境測定結果（資料編：P7～18）

一般大気環境測定を幸田町保健センター敷地内において夏季（令和4年7月14日～7月21日）、冬季（令和5年1月12日～1月19日）に実施した。測定項目は、環境基準が設定されている浮遊粒子状物質等5項目（浮遊粒子状物質、二酸化窒素、二酸化硫黄、一酸化炭素及び光化学オキシダント）とした。

測定の結果、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、二酸化硫黄、一酸化炭素は夏季、冬季ともに環境基準値を満たした。光化学オキシダントは、冬季は環境基準値を満たしたが、夏季は環境基準値を超過した。一般大気環境測定結果は表II 1-1のとおりである。

表II 1-1 一般大気環境測定結果の概要

| 調査項目 | | 夏季 | 冬季 | 環境基準値 |
|-----------|------------------------------------|--------------|-------|-------------|
| 二酸化窒素 | 期 間 内 平 均 濃 度 (ppm) | 0.006 | 0.019 | 0.04～0.06以下 |
| | 1 時 間 最 高 濃 度 (ppm) | 0.018 | 0.048 | - |
| 二酸化硫黄 | 期 間 内 平 均 濃 度 (ppm) | 0.001 | 0.001 | 0.04以下 |
| | 1 時 間 最 高 濃 度 (ppm) | 0.014 | 0.003 | 0.1以下 |
| 浮遊粒子状物質 | 期 間 内 平 均 濃 度 (mg/m ³) | 0.018 | 0.019 | 0.10以下 |
| | 1 時 間 最 高 濃 度 (mg/m ³) | 0.044 | 0.095 | 0.20以下 |
| 一酸化炭素 | 期 間 内 平 均 濃 度 (ppm) | 0.1 | 0.4 | 10以下 |
| | 8 時 間 平 均 濃 度 の 最 高 値 (ppm) | 0.2 | 0.8 | 20以下 |
| 光化学オキシダント | 期 間 内 平 均 濃 度 (ppm) | 0.032 | 0.014 | - |
| | 1 時 間 最 高 濃 度 (ppm) | <u>0.069</u> | 0.041 | 0.06以下 |

1-2 有害大気汚染物質測定結果

有害大気汚染物質測定を幸田町保健センター敷地内において夏季及び冬季に実施した。測定項目は環境基準が定められているベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンとした。

測定の結果、全項目が環境基準値を満たした。詳細は、表II 1-2のとおりである。

表II 1-2 有害大気汚染物質測定結果

| 調査項目 | | 夏季 | 冬季 | 環境基準値 |
|------------------|----------------------|---------|---------|---------|
| ジクロロメタン | (mg/m ³) | 0.0010 | 0.0015 | - |
| ジクロロメタン (年平均) | (mg/m ³) | 0.0013 | | 0.15以下 |
| ベンゼン | (mg/m ³) | 0.0009 | 0.0011 | - |
| ベンゼン (年平均) | (mg/m ³) | 0.0010 | | 0.003以下 |
| トリクロロエチレン | (mg/m ³) | 0.0004 | 0.0003 | - |
| トリクロロエチレン (年平均) | (mg/m ³) | 0.0004 | | 0.2以下 |
| テトラクロロエチレン | (mg/m ³) | 0.00004 | 0.00004 | - |
| テトラクロロエチレン (年平均) | (mg/m ³) | 0.0004 | | 0.2以下 |

1-3 ダイオキシン類測定結果

ダイオキシン類測定を幸田町保健センター屋上において夏季、冬季に実施した。

測定の結果、大気中ダイオキシン類は環境基準値を満たした。詳細は、表Ⅱ1-3のとおりである。

表Ⅱ1-3 ダイオキシン類測定結果

| 調査項目 | | 夏季 | 冬季 | 環境基準値 |
|---------------|--------------------------|-------|-------|-------|
| ダイオキシン類 | (pg-TEQ/m ³) | 0.015 | 0.030 | - |
| ダイオキシン類 (年平均) | (pg-TEQ/m ³) | 0.023 | | 0.6以下 |

2 水質汚濁

2-1 河川水質調査結果 (資料編：P19～39)

幸田町内の12河川(16地点)の水質調査を2回(令和4年7月及び11月)実施した。

今回の調査対象河川は、環境基準が設定されていないが、参考として広田川下流の矢作古川全域が適用される環境基準(河川B類型)と比較した。その結果概要を表Ⅱ2-1に示した。

夏季(7月)調査は生物化学的酸素要求量及び大腸菌数は全地点(16地点)が環境基準値に適合した。水素イオン濃度は、全16地点のうち15地点が環境基準値に適合し、1地点が環境基準値を超過した。また、浮遊物質量は、全16地点のうち15地点が環境基準値に適合し、1地点が環境基準値を超過した。

秋季調査(11月)は、水素イオン濃度、溶存酸素量、生物化学的酸素要求量は全地点(16地点)が環境基準値に適合した。

表Ⅱ2-1 河川調査結果概要

| 調査地点 | | | 夏季 | 秋季 |
|------|------|-------|----|----|
| 番号 | 河川名 | 地点 | | |
| 1 | 柳川 | 稲熊野橋 | ○ | ○ |
| 2 | 柳川 | 楠橋 | ○ | ○ |
| 3 | 石川 | 下橋 | ○ | ○ |
| 4 | 広田川 | 新田橋 | ○ | ○ |
| 5 | 相見川 | 新御殿橋 | 浮 | ○ |
| 6 | 田多美川 | 赤川宅裏橋 | pH | 大 |
| 7 | 尾浜川 | 御櫻橋 | ○ | ○ |
| 8 | 前田川 | 前田橋 | ○ | ○ |
| 9 | 赤川 | 広田川合流 | ○ | ○ |
| 10 | 広田川 | 広田橋 | ○ | ○ |
| 11 | 前野川 | 前野橋 | ○ | ○ |
| 12 | 広田川 | 神前橋 | ○ | ○ |
| 13 | 舟山川 | 中川橋 | ○ | ○ |
| 14 | 拾石川 | 海谷橋 | ○ | ○ |
| 15 | 足後川 | 落合橋 | ○ | ○ |
| 16 | 拾石川 | 堀留橋 | ○ | ○ |

○：調査項目全てが環境基準値に適合

大：大腸菌数が環境基準値超過

pH：水素イオン濃度が環境基準値超過

浮：浮遊物質量が環境基準値超過

2-2 地下水調査結果 (資料編：P40～42)

幸田町内の個人宅10地点、事業所1地点、公共施設1地点(計12地点)の地下水について、地下水環境基準項目及び水道水質基準項目の調査を実施した。その結果、11地点が地下水環境基準値を満たした。

地下水環境基準値を超過した調査地点、また参考として水道水質基準を超過した地点を表Ⅱ2-2 地下水調査結果の概要に示した。

表Ⅱ2-2 地下水調査結果の概要

| 調査地点 | 調査結果 | |
|-------|---------|------------|
| | 地下水環境基準 | 水道水質基準(参考) |
| ①坂崎学区 | ○ | ○ |
| ②坂崎学区 | ○ | 大 マ pH |
| ③幸田学区 | ○ | マ |
| ④幸田学区 | ○ | マ |
| ⑤中央学区 | ○ | ○ |
| ⑥中央学区 | テトラ | テトラ |
| ⑦荻谷学区 | ○ | ○ |
| ⑧荻谷学区 | ○ | ○ |
| ⑨深溝学区 | ○ | ○ |
| ⑩深溝学区 | ○ | ○ |
| ⑪豊坂学区 | ○ | ○ |
| ⑫豊坂学区 | ○ | ○ |

○：調査項目が基準値に適合

大：大腸菌が基準値を超過

マ：マンガン及びその化合物が基準値を超過

pH：pH値が基準値を超過

テトラ：テトラクロロエチレンが基準値を超過

2-3 工場排水調査結果 (資料編：P43～44)

幸田町内事業所の排水を検査した。全6事業所のうち、5事業所が排水基準値を満たした。

3 騒音 (資料編：P45～56)

県道 西尾幸田線沿線(幸田町大字逆川地内)の1地点において、令和5年3月16日(木)～3月23日(木)の期間中に騒音調査を実施した。調査結果を表Ⅱ3-1に示した。調査の結果、騒音は昼間及び夜間ともに環境基準値を満足した。

表Ⅱ3-1 騒音調査結果

| 時間区分 | 騒音レベル | 環境基準 |
|--------------------|---------|-------|
| 昼間 (午前6時～午後10時) | 56.6 dB | 70 dB |
| 夜間 (午後10時～午前6時) | 48.9 dB | 65 dB |

4 農薬汚染調査 (ゴルフ場)

葵カントリークラブ内の調整池1地点において農薬汚染水質調査を実施した。水質検査の結果、ゴルフ場農薬暫定指針値を満足した。

葵カントリークラブ 平岩池 水質検査結果

| 水質検査項目 | 水質検査結果 | 指針値 |
|--------------|--------------|----------|
| ダイアジノン (殺虫剤) | 0.005mg/L 未満 | 0.05mg/L |
| オキシシン銅 (殺菌剤) | 0.02 mg/L 未満 | 0.4 mg/L |
| チオファネートメチル | 0.3 mg/L 未満 | 3 mg/L |
| バリダマイシン | 1 mg/L 未満 | 12 mg/L |
| ボスカリド | 0.1 mg/L 未満 | 1.1 mg/L |
| プロピザミド | 0.05 mg/L 未満 | 0.5 mg/L |